

「情報保障にかかわる調査」集計結果の報告（2024年）

I ろう学校・聴覚特別支援学校を対象にしたアンケート調査の集計結果

調査対象：ろう学校・聴覚支援学校（分校・分教室を含む）108校

調査期間：

回答数：73 / 108校（回答率68%）

(1) 勤務している聴覚障害教職員（身体障害者手帳を有する教職員の有無

勤務している（していたと思われる）学校 67校

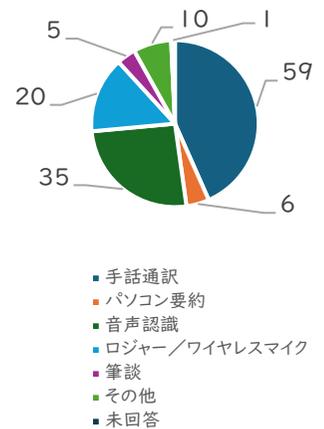
勤務していない（初めて配属された年について回答がなかった）学校 6校

(2) 校内の情報保障の有無と手段（現在の取組）【複数回答】※回答のあった67校より

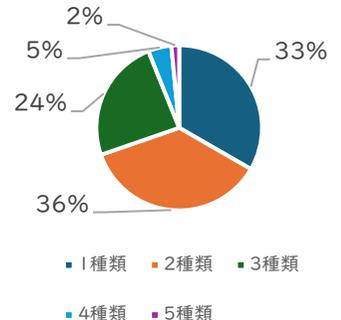
① 職員会議における情報保障

手話通訳のみ	16
パソコン要約のみ	0
音声認識のみ	2
ロジャー／ワイヤレスマイクのみ	1
筆談のみ	0
その他のみ	3
手話通訳・パソコン要約のみ	1
手話通訳・音声認識のみ	14
手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ	2
手話通訳・筆談のみ	2
手話通訳・その他のみ	4
手話通訳・他の2つの情報保障の手段	16
手話通訳・他の3つの情報保障の手段	3
手話通訳・他の4つの情報保障の手段	1
音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク	1
無回答	1

A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



計：67校

C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)

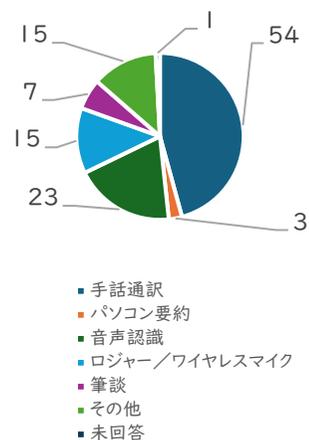


② 学協会における情報保障

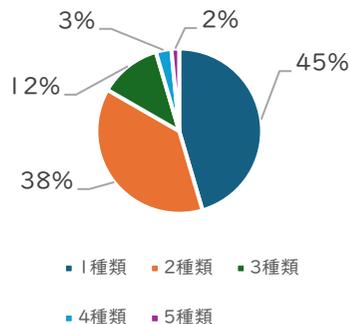
手話通訳のみ	2
パソコン要約のみ	0
音声認識のみ	1
ロジャー／ワイヤレスマイクのみ	1
筆談のみ	0
その他のみ	6
手話通訳・パソコン要約のみ	0
手話通訳・音声認識のみ	8
手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ	3
手話通訳・筆談のみ	3
手話通訳・その他のみ	8
手話通訳・他の2つの情報保障の手段	7
手話通訳・他の3つの情報保障の手段	2
手話通訳・他の4つの情報保障の手段	1
音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク	2
音声認識・その他のみ	1
PC要約・音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク	1
無回答	1

計：67校

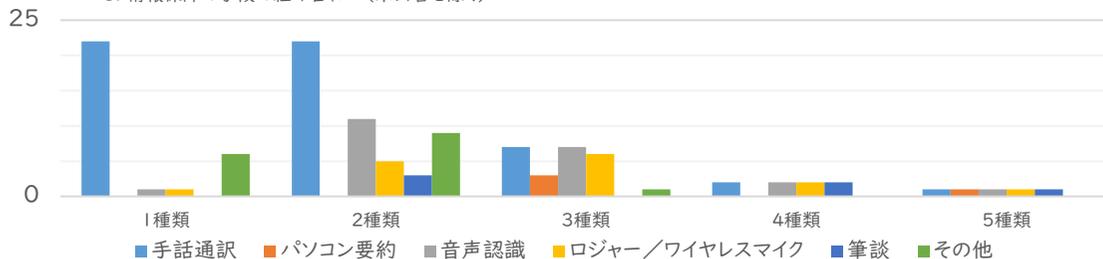
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)



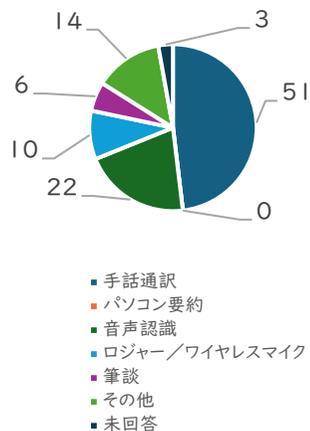
③ 分掌・委員会における情報保障

- 手話通訳のみ
- パソコン要約のみ
- 音声認識のみ
- ロジャー／ワイヤレスマイクのみ
- 筆談のみ
- その他のみ
- 手話通訳・パソコン要約のみ
- 手話通訳・音声認識のみ
- 手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ
- 手話通訳・筆談のみ
- 手話通訳・その他のみ
- 手話通訳・他の2つの情報保障の手段
- 手話通訳・他の3つの情報保障の手段
- 手話通訳・他の4つの情報保障の手段
- 音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク
- 音声認識・その他
- 無回答

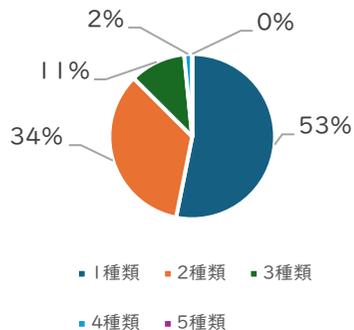
24
0
2
1
0
7
0
9
3
2
5
7
1
0
2
1
3

計：67校

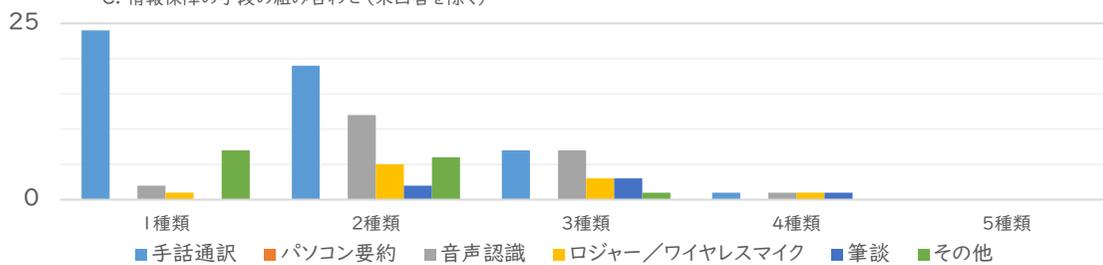
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)



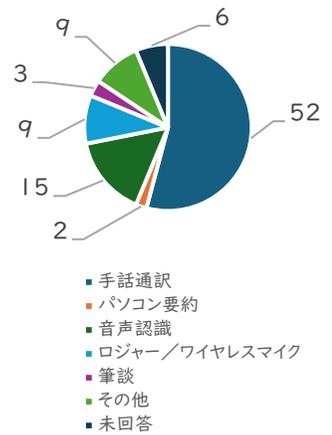
④ 朝の打ち合わせにおける情報保障

- 手話通訳のみ
- パソコン要約のみ
- 音声認識のみ
- ロジャー／ワイヤレスマイクのみ
- 筆談のみ
- その他のみ
- 手話通訳・パソコン要約のみ
- 手話通訳・音声認識のみ
- 手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ
- 手話通訳・筆談のみ
- 手話通訳・その他のみ
- 手話通訳・他の2つの情報保障の手段
- 手話通訳・他の3つの情報保障の手段
- 手話通訳・他の4つの情報保障の手段
- 音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク
- 無回答

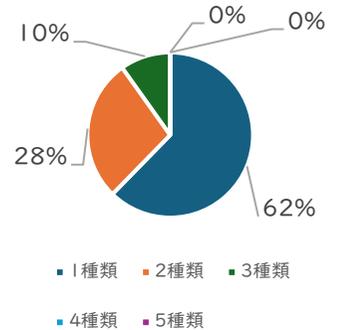
3
1
0
2
0
0
0
5
1
6
2
3
3
6
0
0
0
2
6
6

計：67校

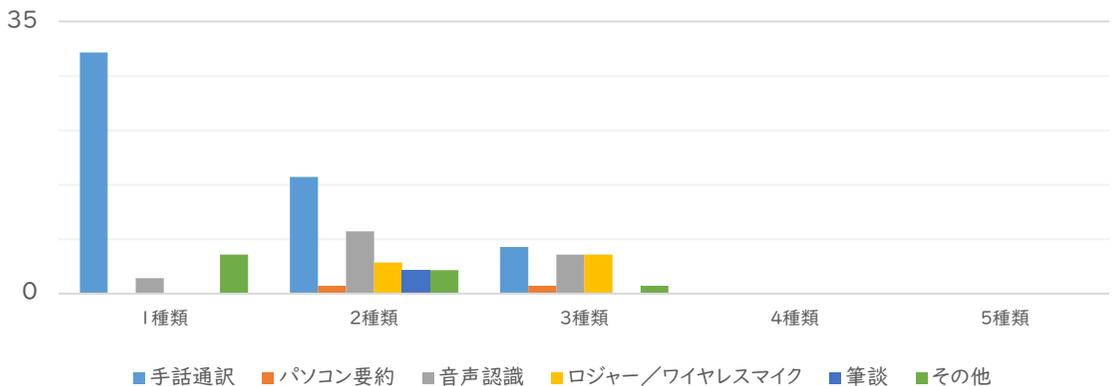
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)

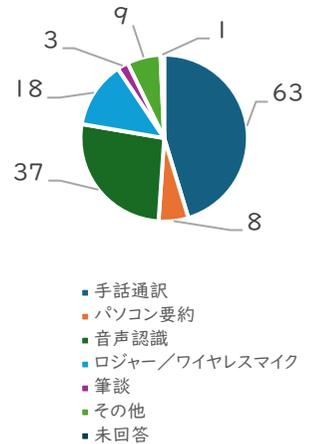


⑤ 校内研修や研究会における情報保障

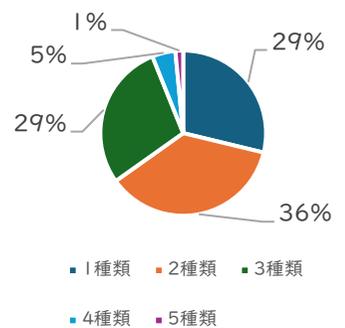
手話通訳のみ	16
パソコン要約のみ	0
音声認識のみ	1
ロジャー／ワイヤレスマイクのみ	1
筆談のみ	0
その他のみ	1
手話通訳・パソコン要約のみ	4
手話通訳・音声認識のみ	15
手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ	2
手話通訳・筆談のみ	0
手話通訳・その他のみ	3
手話通訳・他の2つの情報保障の手段	19
手話通訳・他の3つの情報保障の手段	3
手話通訳・他の4つの情報保障の手段	1
無回答	1

計：67校

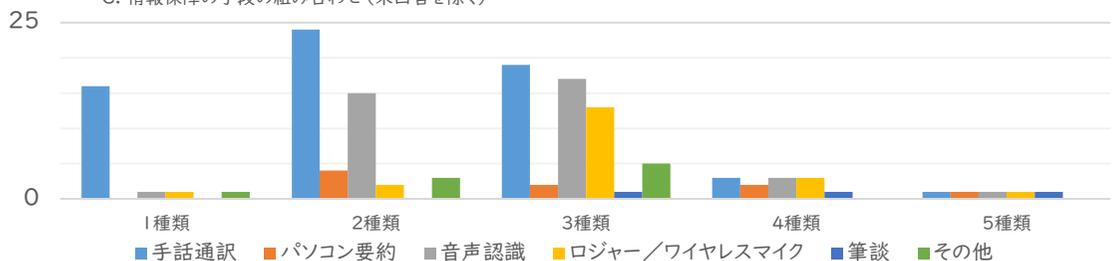
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)

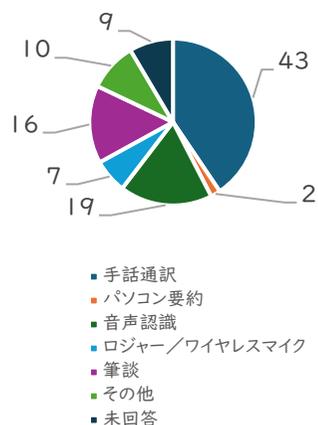


⑥ 保護者面談における情報保障

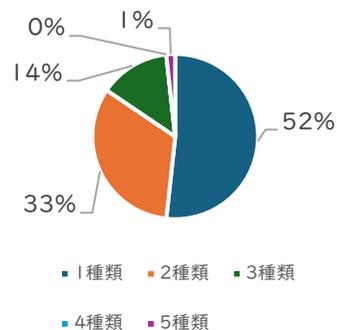
手話通訳のみ	20
パソコン要約のみ	0
音声認識のみ	2
ロジャー／ワイヤレスマイクのみ	1
筆談のみ	3
その他のみ	4
手話通訳・パソコン要約のみ	1
手話通訳・音声認識のみ	7
手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ	1
手話通訳・筆談のみ	5
手話通訳・その他のみ	1
手話通訳・他の2つの情報保障の手段	7
手話通訳・他の3つの情報保障の手段	0
手話通訳・他の4つの情報保障の手段	1
音声認識・筆談	1
音声認識・その他	1
音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク・筆談	1
ロジャー／ワイヤレス・その他	1
筆談・その他	1
無回答	9

計：67校

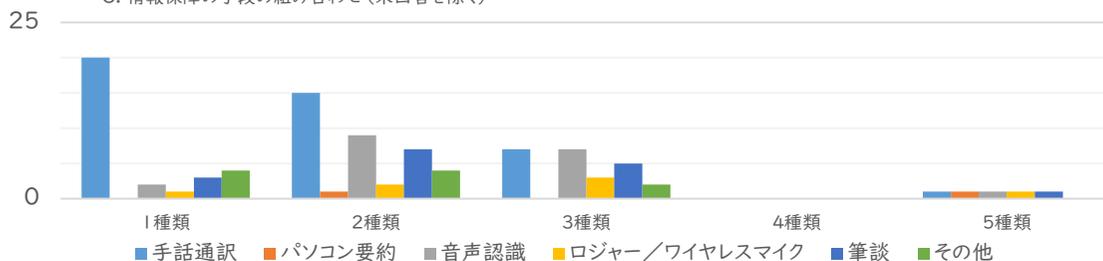
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)

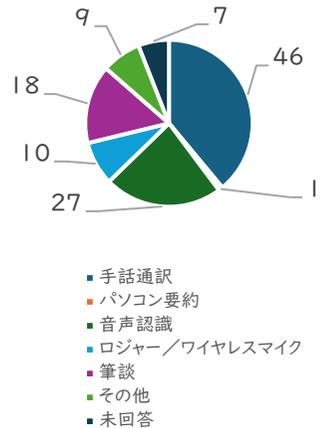


⑦ 実習反省会や外部との打ち合わせなどにおける情報保障

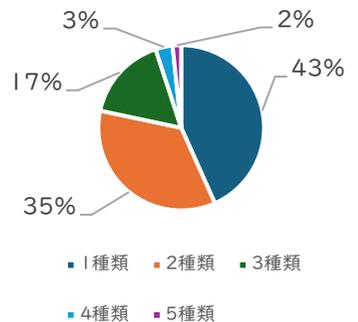
手話通訳のみ	18
パソコン要約のみ	0
音声認識のみ	3
ロジャー／ワイヤレスマイクのみ	0
筆談のみ	1
その他のみ	4
手話通訳・パソコン要約のみ	0
手話通訳・音声認識のみ	8
手話通訳・ロジャー／ワイヤレスのみ	3
手話通訳・筆談のみ	4
手話通訳・その他のみ	1
手話通訳・他の2つの情報保障の手段	9
手話通訳・他の3つの情報保障の手段	2
手話通訳・他の4つの情報保障の手段	1
音声認識・筆談・その他	1
音声認識・ロジャー／ワイヤレスマイク	1
音声認識・筆談	3
筆談・その他	1
無回答	7

計：67校

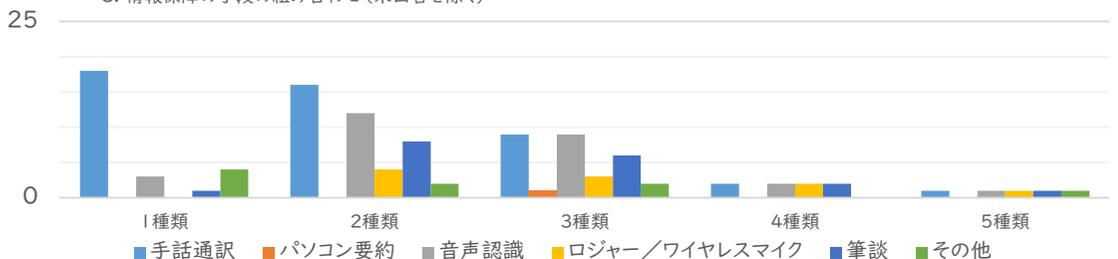
A. 採用している情報保障手段(件数)



B. 情報保障の種類
(未回答を除く割合)



C. 情報保障の手段の組み合わせ(未回答を除く)



(2) 「その他の手段」の具体的内容

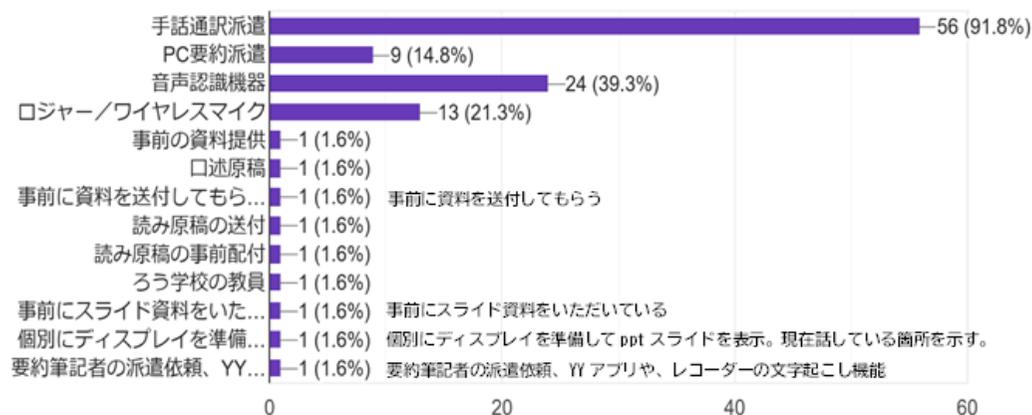
- ・手話のできる職員や手話のできる保護者は、手話を使って話しをする。(回答多数)
- ・PC で資料を画面表示し、話の内容部分を色で示す。
- ・書面の拡大表示及びメモ、
- ・事前に発言者が文字情報を入力し、係りが読み上げと同時に提示する。
- ・口述原稿
- ・手書き文字での要約
- ・外部との打ち合わせの電話でのやり取りは、電話リレーサービスを利用。
- ・実習反省や外部との打ち合わせは校内より同行する教員が通訳を担っている。
- ・マンツーマンの時は口話でのやり取り(マスクを外してもらう)
- ・資料の提示やプレゼンテーションソフトを使った字幕の提示
- ・他の職員と同じ資料をスライドに投影し、加筆があればその場で記入する。
- ・OneNote で情報の共有を図っている。
- ・事務室内でのやり取りはロジャー使用、静かな環境作り、マスクを外すなど配慮をする。
- ・OHC、記録を見る

(3) 校外の情報保障派遣および機器整備の有無(現在とこれまでの取組み)

① 初任者研修や経験者研修

聴覚障害教職員の受講あり／情報保障の配慮あり	61
聴覚障害教職員の受講あり／情報保障の配慮なし	1
聴覚障害教職員の受講なし／情報保障の配慮あり	1
聴覚障害教職員の授業なし／情報保障の配慮なし	2
不明	1
未回答	1

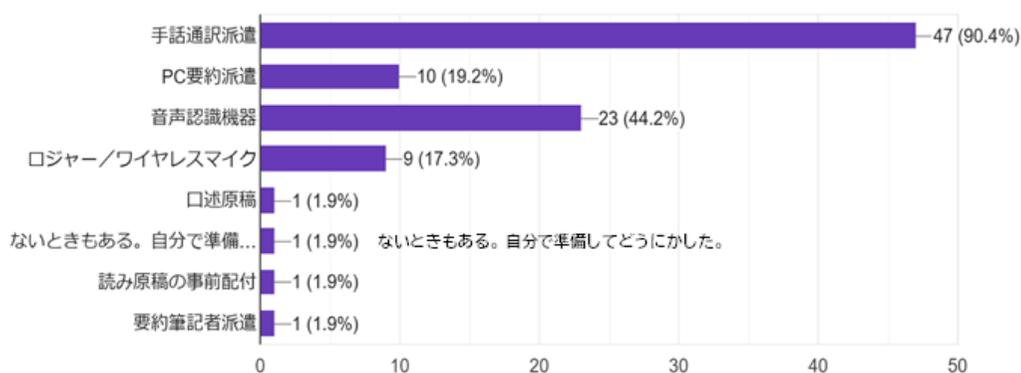
計:67校



② 認定講習や校外研修

聴覚障害教職員の受講あり／情報保障の配慮あり	53
聴覚障害教職員の受講あり／情報保障の配慮なし	2
聴覚障害教職員の受講なし／情報保障の配慮あり	0
聴覚障害教職員の受講なし／情報保障については不明	3
聴覚障害教職員の受講があるかどうか不明だが、配慮はなし	1
いずれも不明である	7
未回答	1

計:67校



(4) 他のろう学校や特別支援学校に紹介したい情報保障に関わる取組み事例【複数回答可】

- ・教員対象の手話研修の実施:33校
- ・廊下や踊り場における安全対策ミラーの設置:20校
- ・災害発生時の緊急伝達システムの整備:12校
- ・情報保障委員会あるいは情報保障部会の設置:10校
- ・手話通訳者の採用(正規教員、臨時教員、非常勤卒の活用、会計年度任用職員など):4校
- ・聴覚障害教職員がろう通訳として対応:4校
- ・防災、減災学習の取組み:1校
- ・音声認識ソフトを利用しての情報保障:1校
- ・緊急時のお知らせボード:1校
- ・各部の職員室・保健室にテレビ電話がある(タブレット端末で google meet を使って):1校
- ・毎朝の職員朝会で手話表現一日一単語紹介する:1校

II ろう学校・聴覚特別支援学校以外の学校で勤務している

ろう難聴の教職員を対象にしたアンケート調査の集計結果

調査対象：ろう学校や聴覚支援学校以外の学校で勤務しているろう難聴の教職員

調査期間：

回答数：6名

※ 現勢調査によれば、ろう学校や聴覚支援学校以外の学校で勤務しているろう難聴の教職員の数は約90名にのぼるといわれている。

(1) 聴力の程度／主なコミュニケーション手段

個人情報保護の観点から、掲載を控えさせていただきます。

(2) 自分以外の聴覚障害教職員（身体障害者手帳を有する教職員）の数

- ・自分以外はいない：4名
- ・自分以外の聴覚障害教職員が1名いる：1名
- ・わからない：1名

(3) 配属されたときから情報保障があったかどうか

あった：3名	なかった：3名
<p>① なぜ情報保障があったか。</p> <ul style="list-style-type: none">・理解者がいたから：1名・理解者がいて、 自分からお願いしたから：1名・情報保障が必要なことを伝えたから：1名 <p>② 情報保障の手段は何か。(複数回答可)</p> <ul style="list-style-type: none">・手話通訳と音声認識：2名・PC要約と音声認識：1名	<p>① 情報保障は必要か。</p> <ul style="list-style-type: none">・必要だ：3名 <p>② 情報保障がなくて困ったことは何か。 (複数回答可)</p> <ul style="list-style-type: none">・会議・研修／研究会：1名・朝の打ち合わせ・会議・ 研修／研究会：1名・朝の打ち合わせ・会議・ 研修／研究会・保護者面談・引率：1名

(4) 初任者研修や経験者研修、認定講習や校外研修で情報保障の配慮があったか？

初任者研修や経験者研修	認定講習や校外研修
<p>① 配慮があったかどうか</p> <p>あった：6名 なかった：0名</p> <p>② 配慮の内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳の派遣・音声認識：2名 ・手話通訳の派遣：3名 ・ロジャー／ワイヤレスマイクと話の内容をまとめたプリント用紙：1名 	<p>① 配慮があったかどうか</p> <p>あった：5名 なかった：1名</p> <p>② 配慮の内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳の派遣・音声認識：3名 ・手話通訳の派遣：1名 ・音声認識と話の内容をまとめたプリント用紙：1名

(5) 自分の“きこえ”について配慮を求めたことがありますか。

ある：6名 ない：0名

ケース1	ケース2	ケース3
<p>毎年、年度初めの職員会議で、異動してきた先生方に対してパンフレットを配付して、自分のきこえや配慮してほしい内容を説明している。</p>	<p>春に、教室で学年の先生方に静かな場所やできる限りマスクを外して話すようお願いしている。</p>	<p>異動して2年目の頃に、外部研修のときに通訳を付けてほしいとお願いした。他に手話のできる先生も学べるようにしてほしいと管理職に伝えた。</p>
改善できた	改善できた	改善できた

ケース4	ケース5	ケース6
<p>校長面談や保護者面談などで、音声認識で話す内容を理解できるが、私から発言するときはWord入力し、テレビ画面に映し出す形でお願いした。</p>	<p>異動が決まったときの3月末、事務手続きの際に管理職に自分のきこえや配慮事項について筆談でお願いした。</p>	<p>赴任したときに管理職に口頭で説明した。</p>
一部改善できた	一部改善できた	一部改善できた
<p>【改善できなかった背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の聴覚障害に対する理解不足と設備の問題 	<p>【改善できなかった背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算や設備、人材の問題 	<p>【改善できなかった背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算や設備の問題